

## SDGs（持続可能な開発目標）と家庭科

気候変動、自然災害、貧困、格差、紛争などの地球規模の課題に対して、人類がこの地球で暮らし続けていくために 2030 年までに達成すべき目標として持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals : SDGs) が採択されました。Sustainable Development Report 2021 (2021 年 6 月) の SDGs 達成度 世界ランキングをみると、日本は第 18 位でした。達成状況について、赤は主要な課題です。「5 : ジェンダー平等を実現しよう」「13 : 気候変動に具体的な対策を」「17 : パートナリーシップで目標を達成しよう」は過去 5 年間ずっと主要な課題であり続けています。(赤 : Major challenges, オレンジ : Significant challenges, 黄 : remain, 緑 : SDG achievement)



家庭科の学習は、SDGs の各目標と密接に結びついています。家庭科では、生活の場面をみつめ直し、生活の主体者として行動できる力を育成することを目指しています。浜松市未来ビジョンでは、都市の将来像として「市民協働で築く「未来へかがやく創造都市・浜松」が掲げられ、1 ダースの未来が示されています。浜松市は外国人市民が多い都市でもあります。多様性を認め合う社会は、誰かが構築してくれるわけではありません。一人ひとりが互いの人権を尊重し、ともに支え合って暮らし、生きることが必要です。子供たちが未来の創り手として活躍できるよう、家庭科の学習をさらにパワーアップすることが期待されます。

静岡大学大学院教育学領域准教授 小清水貴子

出典 : <https://dashboards.sdindex.org/static/profiles/pdfs/SDR-2021-japan.pdf>

## 第2回研修会報告

令和3年8月4日（水）於：浜松市教育会館／浜松市教育センター

### 【午前】小中合同研修

- 講話  
「消費者教育におけるSDG sとの関わりとその実践」  
浜松市くらしのセンター 杉本真弓氏
- 実践発表  
「地域の食材や食文化に目を向けて」  
浜名中学校 宮本 まい 教諭  
「自分に合った食生活を送れるようになろう」  
丸塚中学校 村木 麻依 教諭

### 【午後】小学校研修

- 実践交流会  
部会にてプチ実践の紹介
- 実技研修  
「練習布の活用について」  
豊西小学校 柳瀬 美穂 校長
- ICT活用研修  
浜松市教育センター  
嶋田喜守指導主事

講話「消費者教育におけるSDG sとの関わりとその実践」  
講師 浜松市くらしのセンター 杉本真弓氏



### 第1部

#### ① 消費者教育とSDG s

- ・2012年「消費者教育推進法」の成立

【目的】消費者被害の防止  
利益の擁護増進のため行動できるよう消費者の自立の支援  
消費者教育の機会の提供

『消費者教育』の推進が国及び地方公共団体の責務！

- ・『消費者教育』…消費生活に関する知意識や技能の習得  
消費者市民としての意識形成と行動力の育成

- ・『消費者市民としての消費者』  
…社会へ影響力を与えられる消費者  
【責任ある消費者】



#### ② SDG s とエシカル消費

- ・エシカル（倫理的）消費  
…みんなが幸せになれる「思いやりでつながる消費行動」

・フェアトレード ・地産地消 ・オーガニック ・環境配慮  
・応援消費（障がい者、風評被害、震災被害等）

『めざせ！消費者市民社会』

消費者市民社会…消費者が構成で持続可能な社会づくりに積極的に関わる社会

## 第2部

### ① 日常生活は契約がいっぱい

- ・契約とは、『法律的な責任が生じる約束』…日常に溢れている

・靴を買う ・スマホでオンラインゲームをする ・成人式の着物を借りる  
・家賃を払う ・ネットで買い物をする ・バスに乗る など…

- ・契約が成立するとき、『申し込みと承諾で、互いの合意が交わされたとき』

※口頭でも契約成立！

- ・成立した契約は、『一方的に取り消せない』

※契約を解約するときも、互いの合意が必要！



### ② 未成年と成年で変わること

- ・2022年（令和4年）から、成年が20歳から18歳へ。

それに伴い、『未成年者取り消し』の適用年齢も18歳へ引き下げ

未成年者が親の同意を得ずにした契約は、原則取り消すことができる。  
ただし、できない場合もある。

- ・成年になってもできる契約の取り消し…『クーリングオフ』による取り消し  
『消費者契約法』による取り消し

※適用できるか、内容を正しく把握する必要がある！

### ③ ネットショッピングでの注意点

- ・よくあるトラブル

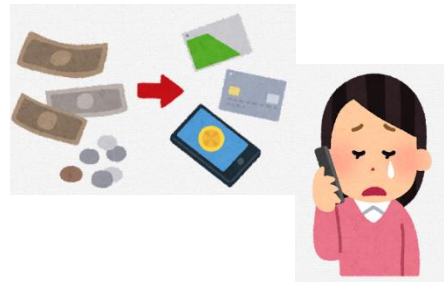
・代金を振り込んだが、商品が届かない ・ブランド品の偽物  
・届いた商品が、写真と全く違う ・販売者へメールをしても返信がない

- ・特に、18～19歳の相談が多い。

- ・具体例（HP画面を見てあやしいところを探す、実際にあった事例）を伝え、実生活と繋げて考える。

### ④ 暮らしに必要なお金

- ・キャッシュレス社会が進む中、  
キャッシュレスのメリット・デメリットの把握



### ⑤ 困ったときは消費者ホットライン

- ・消費者ホットライン『188番』

消費者トラブルを防ぐ方法

① 情報を収集する力 ② 情報を判断する力 ③ 相談する力

#### ～研修後の感想～

- ・自分の消費活動が世界に繋がっているという認識をもつことができた。
- ・具体例が多く、小学生も理解できると思うので、授業で活用していきたい。
- ・「エシカル消費」とは、人も自然も傷つけない、みんなが笑顔になれる買い物だということを知り、小学生の頃から意識していくことが大切だと感じた。
- ・家庭科は、被服と調理に視点がいきがちだが、これからの世界を見据えた消費生活について考えることは、とても大切だと実感できた。



午後 小学校家庭科部研修

○ 実践交流会（プチ実践）

○ 実技研修「練習布の活用」 講師 豊西小学校 柳瀬美穂 校長

○ ICT 活用研修 講師 浜松市教育センター 嶋田喜守 指導主事

<実践交流会の様子>



※ 次回号の「まど」にて、各部の実践を紹介していきます。

<実技研修の様子>



～研修後の感想～

- ・練習布について、新旧の違いや意図が理解できた。
- ・今まで独自の解釈で指導していたので、確認することができてよかった。
- ・オンライン等4月に知ることができたら、1学期の指導で生かすことができた。

<ICT 活用研修の様子>



～研修後の感想～

- ・ICT の研修は学校でも進めているが、家庭科でどのように活用できるかを知れてよかった。他の活用法も知りたい。
- ・ICT の必要性は分かっているが、なかなか授業でできていなかったため、このような研修は必要だと感じた。
- ・タブレットを使うことが目的にならないようにしたいと思った。
- ・スキルに個人差があり、焦った。このままでは実践に生かせそうもないので、もう少し時間をかけてじっくり研修したかった。

